

1 自己評価

I 評価結果

(別紙参照)

II 分析・改善方策

【強いからだ】自分の体を知りよい習慣を続ける子 [セルフマネジメント力の向上]

備前中学校区で行っているメディアコントロールの取り組みも9年目となった。コロナ禍の影響でメディア時間の増加や外遊び・運動機会の減少があったと考えている。メディア時間は家庭学習時間や基本的な生活習慣の確立と密接な関連があつて個人差が大きい。学校保健安全委員会では、昨年に引き続きスマホを話題の中心として保護者啓発に努めた。保護者と共に教師もメディアリテラシーの指導ができる知識と技術を学ぶ必要があると危機感を抱いている。今後も、メディアの取組を重点課題として引き続き実施するが、基本的な生活習慣の確立を目指した「凡事徹底」や「運動に粘り強く取り組む児童の育成」にも注力していく。

【広いこころ】柔軟な心をもち温かい人間関係をつくる子 [コミュニケーション力の向上]

コロナ禍の影響で児童の心身の不安・不調・ストレスは相当あったと考えている。不登校2件・いじめ1件(解消済み)が発生している。また、不登校傾向の児童や教師の指示に従いにくい児童、友達との良好な関係づくりに課題がある児童など個別支援が必要な児童はどの学級にも在籍している。心身の不調や問題行動があつた場合は、校内ケース会を開催し情報共有と指導方針を確認するなど組織的・協働的対応をしている。今後も、アンテナを高くして異変を見逃さず、集団・個別指導を丁寧に行つて人間関係構築能力獲得の取組を重点課題として引き続き実施するが、非認知能力に焦点を当てた自尊感情や自己肯定感を育む取組にも注力していく。

【かおる歴史】確かな基礎力を土台にして学びを広げ生かす探究する子 [問題解決力の向上]

校内研究テーマを「根拠をもって自分の考えを広げたり深めたりする児童の育成」に設定し授業改善に取り組んだ。自分の考えを広げたり深めたりするための活動を意図的・計画的・継続的に設定し、主体的・対話的で深い学びとなるよう努めた結果、その成果が児童の意識や言動に見られるようになったと考えている。今後も、「根拠をもって自分の考えを広げたり深めたりする児童の育成」を重点課題として引き続き実施するが、家庭学習として読書を含む自主学習の取組にも注力していく。

【信頼される学校】

コロナ禍の影響で地域ボランティア活動が大きく制限され、例年同様の地域連携が難しい状況だった。しかし、感染状況に応じて読み聞かせや主体的な学び(放課後学習)も実施され、学校行事への保護者参観も緩和されるようになり児童の喜びも大きかった。今後も、保護者や地域と共に学校を創る意識と意欲が高まるよう、情報発信による信頼関係構築に努める取組を重点課題として引き続き実施するが、小中一貫教育を推進する取組にも注力していく。

2 学校関係者評価

I 学校関係者評価委員名

5名（個人名は省略）

II 学校関係者評価総括

（コメントは別紙参照）

- ・「強いからだ」は、メディアコントロール力の評価が厳しく、学校・保護者の情報共有と連携を継続する必要がある。挨拶は、会釈やアイコンタクトも含めた多様性を認めていきたい。
- ・「広いところ」は、いじめや差別に関して知的理解に加え自分事としての実践力育成を大切にしたい。人間関係構築力は、家庭の教育力が基本で親子のコミュニケーション力を高めたい。
- ・「かおる歴史」は、様々な学力向上の取組を継続してもらいたい。特に、家庭の教育力向上のためには困っている保護者向けに具体的支援をお願いしたい。
- ・「信頼される学校」は、保護者・地域との信頼関係を基にした継続した連携が望まれる。そのためのタイムリーで丁寧な情報発信に継続して取り組むよう願う。

3 来年度の重点取組（学校評価を踏まえた今後の方向性）

1 自分の体を知りよい習慣を続ける子

セルフマネジメント力の向上

よい生活習慣を身につけ、体をきたえ、目標をもって前向きにがんばる力を伸ばすことで健康と体力を育てる。

重点 コロナ禍での心身の不調（生活習慣の乱れや運動不足）を解消し、粘り強く取り組む児童を育てる。

→ アクションプラン【体】に関する項目

- ・メディアコントロール
- ・運動を楽しみ親しむ
- ・粘り強くやり抜く

2 柔軟な心を持ち温かい人間関係をつくる子

コミュニケーション力の向上

一人一人が大切にされ、それぞれの存在や良さが認められる集団づくりを通して、自分と仲間を大切にできる力を伸ばすことで豊かな人間性を育てる。

重点 自分とのちがいを受け止め、折り合いをつけながら仲良く活動する児童を育てる。（人権教育の推進・積極的生徒指導と特別活動の推進）

3 確かな基礎力を土台にして学びを広げ生かす探究する子

問題解決力の向上

質の高い学びを実現することで、資質・能力の三つの柱（知識技能の習得・思考力判断力表現力の育成・学びに向かう力人間性の涵養）をバランスよく育てる。

重点 根拠をもって自分の考えを広げたり深めたりする児童を育てる。（校内研究として全職員で取り組み、その成果を日々の授業改善に生かす。）

研究テーマ『（未定）』

→ アクションプラン【知】に関する項目

- ・校内研究の充実
- ・日々の授業の改善 学び合い
- ・GIGAスクールの推進

4 保護者や地域から信頼される学校づくりに努める。

- (1) 学校教育活動を保護者・地域に積極的に公開する。（社会に開かれた教育課程）
- (2) 小中一貫教育の推進と情報発信を積極的に行う。（備前中学校区小中一貫教育）
- (3) 地域学習や地域の方との協働活動の促進を図る。（学校支援地域ボランティア）
- (4) 不祥事のおきない職場の環境づくりに取り組む。（教職員研修と働き方改革）